



夕刊 行發日四十二月二

九々いらす珠算に就て

吉田松雄 計算法(法五、實二五) 法五を左に置き實二五を右に置く

高原加藤輝雄 昨日の夜露はいたりて落葉松のかぐろき幹はしむしむし

良寛と馬 島田忠夫 此の時の盤面二五、即答二五である

習慣性に就て

前松佐嘉 (九) 語り本人の理想としては見るに似てはいるが、故にこの意味が人が少くない、處で私は

阿呆馬 阿呆馬が咲いたも知らぬげな

浪人長屋 日岐武志作 月草道子書

美味で評判のイワキサロン 平町電三五二

社会の今日 春泥に車の代を食らるしめやかに濡る、思ひのありやなし今宵うれしき宇治川の雨



浪人長屋 (22) 日岐武志作 月草道子書 動 春の夜であ

社会の今日 春泥に車の代を食らるしめやかに濡る、思ひのありやなし今宵うれしき宇治川の雨

新学年の御用意 ランドセル (三十種) 手提カバン (三十種) マルトモ柴田書店

急告 元弊店員郡信次儀昭和八年五月二十三日解雇

川井内科診療所 女醫學士 川井安重子

平南町 生徒募集 産婆 看護婦 看護婦学校

貴方の御家庭に 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

木村病院 平町新川町 電話一六四番

吸入用酸素 純度99% モノサシ マス ハカリ 体温器 寒暖計

關内藥局 電話四〇番

關彰商店 本店 支店

川井内科診療所 女醫學士 川井安重子

平南町 生徒募集 産婆 看護婦 看護婦学校

貴方の御家庭に 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

鈴木醫院 耳鼻咽喉科専門 鈴木正男

鈴木醫院 齒科 鈴木喜政

高久病院 (電話五三三番) 内科 外科 小兒科

貴方の御家庭に 本會を御利用下さい 直に家政婦を派出します

病性腸胃 皮膚科 性病科

早春の陽も麗かに けふ小名濱校竣功式典

數百の會衆に賑ふ

六萬三千の工費と十一月の
の日子を費して完成した小
名濱小學校の竣功式は既報
の如く二十四日午前十時
から校庭に於て知事代理水
野親學、郡内町村長並有志
數百名參列、西山校長開辭
神官修職並祝詞、來賓の玉
串奉奠、小野町長の左配式
辭、工事監督野口竹次郎氏
の工事經過報告について工
事功勞者
△工事監督野口竹次郎氏
△學務主任齊藤昇一氏△
△工事請負者小名濱大工組
合(代表者)小磯魁一氏建
築委員藤田重吉氏外三十
四名
を表彰し、終つて奉賓祝辭
授賞者總代の答辭あり式を
閉ぢたが參列數百名非常な
盛況であつた(寫眞は小野
町長)



各種餘興と 諸催し

今日二日間に亘る
式後武道大會、花角力、兒
童成績品、生花展覧會を開
催、明日廿五日は高齡者を招
きを待たり、本校の職
員兒童たるもの永く舊校
舎當時の辛勞を忘るゝに
となく益々精勵の職に努
め、其の分を守り、一致
協力以て名實益々斯界に
重らしめんことを望み
て己らなり、一言以て
式辭とす
昭昭九年二月廿四日
小名濱町長

三重縣から来る 新水試場長中山技師

小名濱は二度目の勤務

本町小學校改築の工
成り茲に本日を通し
開校以來在任に十有一年
の間下並に來賓各位の實
を厚く盛大なる落成式
を舉ぐるを得たるは洵に
欣快とする處なり、惟
に本町は商港修築の着工
に伴ひ逐年人口激増し
爾來校舎の狹隘を告げ加
ふるに構備極めて考
して設備不完全なるを以
て昭和七年度に於て之が
改築の議起り、町は出
費多端の時なり拘らず
國家百年の大計たる教育
費六萬二千圓を計し昭
和八年三月二十五日を以
て永かつたわけで平
飛塚氏に在任中の感
に

廿倍の遠距離へ 漁場が進出した

飛塚氏劃期的變遷を語る

らしたら別段感
た事もないが申すと
すれば第一、第二、第三
の警戒丸を建造した位
ものであらう、其外若
當時七八十裡を出でな
つた漁場が今日では千
五里にまで進出した

恩赦記念司法保人 自營會其他主催

郡下の日割決定

既報一自營會、警察署、
検察局が合同主催の下に開
催される恩赦記念の司法保
護宣傳人心劇は本庄刑務支
所長、緒方検事局監督督記
横山署長協賛の結果
來月八日(警察館)九日
日好間(小學校)十日湯

百選に迄進出する事 頭に被田七十三名、勿來六

など一昔の變遷として
殊に感慨深きものある
愛知縣はアメリカ歸りの
當時金魚の輸出地である
湯本に養魚の視察へ行
たつた

就學兒調査

湯本小學校

湯本小學校では此程高等科卒業
兒童の希望調査を行った
最も多いのは男子部で二十
二名、女子部では看護婦の
十八名であつた、尚同校は
昨年十一月郡下最初の職業
指導校として指定されたの
で目下着々下卒業兒童の
就職指導に努めて居る

成田初詣團

今朝平露出發

既報一成田山初詣團は今
二十四日午前八時五分
發の時立出だしたが三期
發者は二百六十七名を

横須賀行の海軍職夫 郡下農村から十名採用

昨日廿三日縣社會課から發表

横須賀海軍工廠が特に東北
地より純朴で身体強健な農
村青年を採用したいといふ
希望で本縣より二百五十名
の職夫を募集する事に
各町村より志願者の推薦方
を依頼中であつたが其數實
に一千三百三十三名を受
験した事になり、
の警戒丸を建造した位
ものであらう、其外若
當時七八十裡を出でな
つた漁場が今日では千
五里にまで進出した

温泉復活祈願

湯本町の一部有志より成る
愛知縣では来月二十日
湯本町で湯本神社に於
て佐波古神官より温泉復
活祈願祭を執行する

石川寅之助氏當選

磐崎村議補欠職了

磐崎村々會議員吉田直文氏
選挙に失敗した格に
選挙は昨日廿二日午前八時
執行の如き得票で石川
寅之助氏が當選した
二七票、石川寅之助
一三票、鈴木、茂中

郡下女子個人卓球戦

磐女選手顔觸れ決定

平町マートモ運動具店主催
卓球協會後援の郡下女子
個人卓球大会は昨日廿五日
磐女選手に開かれた
一人一人の成績は
四年一吉田泰子、前田
三子、三年一渡邊ヨシ
石島トミ、磯山ミヨ、山
野松子、中井ミホ、
二年一堂野キミエ、野
千代、中村米子、堀江
千代、色川ヒデ、一年
福田チヨ子、保住ナ子
通過三一九渡邊チヨ子
通過三一九渡邊チヨ子
通過三一九渡邊チヨ子

剣道講習會

参加約五十名

縣主催剣道講習會は来る廿
七日より三日間平野道場
貯金し、また故郷に二百
七圓を送金してゐる者
で心配して問途のない所
に世話をし、監督をして

情婦戀しが運の盡 東京の繪の具泥御用

昨夜更平驛前の捕物

昨廿三日午後十一時、平野同家に下宿して居た無職高
野松子、中井ミホ、
二年一堂野キミエ、野
千代、中村米子、堀江
千代、色川ヒデ、一年
福田チヨ子、保住ナ子
通過三一九渡邊チヨ子
通過三一九渡邊チヨ子
通過三一九渡邊チヨ子

千五百圓を要求

平局の時金拂戻し紛糾

既報一高久村大字下高久字と團(代理人三宅仙童選
月十七日農務局長(信局長、指定代表人戸野平
を相手取り千五百圓を
圓取入の郵便貯金通帳を
に對して千五百圓を拂
返す二月十三日偽委任一時口頭辯論を開廷
所不定無職秋田縣南秋田郡
下江川村生傷毒詐欺前科

水野視學協

議日割決定

視學協の協定日は来月一日
四小學校で第四區校長と
二日は第一校に郡下校長
會出席、三日同じく第一校
で第三區及び第二區の一部
校長と、四日は植田小學校
で第一區、第五區及び第二
區の一部校長とそれら會
同、既報の如く教員の思想
取締りその他事件に就いて
打合せをなす

貨切御用命

セヒ三井自動車部へ

乗合は好問：合戸：澤渡方面行

安齊外科醫院

電話六八五番

水野視學協 來郡の
議日割決定 水野縣
視學協の協定日は来月一日
四小學校で第四區校長と
二日は第一校に郡下校長
會出席、三日同じく第一校
で第三區及び第二區の一部
校長と、四日は植田小學校
で第一區、第五區及び第二
區の一部校長とそれら會
同、既報の如く教員の思想
取締りその他事件に就いて
打合せをなす

暦
一月 正月 戌辰
二月 二月 癸巳
三月 三月 甲午
四月 四月 乙未
五月 五月 丙申
六月 六月 丁酉
七月 七月 戊戌
八月 八月 己亥
九月 九月 庚子
十月 十月 辛丑
十一月 十一月 壬寅
十二月 十二月 癸卯
日曜 日
日曜 日

耳、鼻、咽喉、科専門
平野町 大和田醫院
電話一〇七番
氣管、食道科、科

安齊外科醫院
入院隨意 自費の便あり
平野町赤心堂病院(電話四五番)

貨切御用命
セヒ三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は好問：合戸：澤渡方面行

情婦戀しが運の盡
東京の繪の具泥御用
昨夜更平驛前の捕物

千五百圓を要求
平局の時金拂戻し紛糾
既報一高久村大字下高久字と團(代理人三宅仙童選
月十七日農務局長(信局長、指定代表人戸野平
を相手取り千五百圓を
圓取入の郵便貯金通帳を
に對して千五百圓を拂
返す二月十三日偽委任一時口頭辯論を開廷
所不定無職秋田縣南秋田郡
下江川村生傷毒詐欺前科